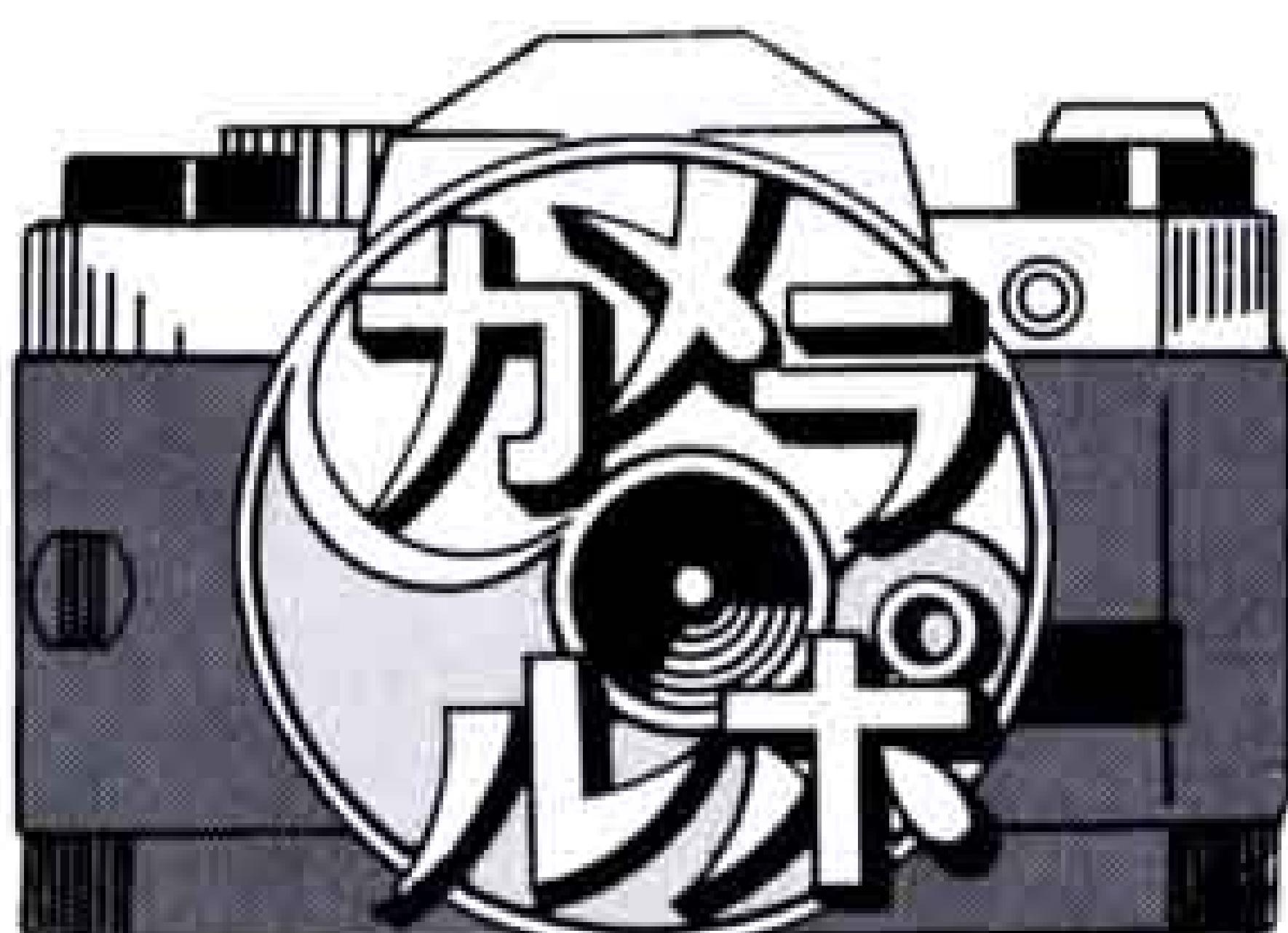


地球環境にやさしい 自動車です

=県下自治体で初めて電気自動車を購入=



△鈴木市長が試乗



△後ろには蓄電池10個、200Vが…



△おもわづ、お母さんもいっしょに

気力・体力 チークーフが勝負の駅伝

△元吉原子ども会元旦駅伝

今年で二十一回目を向かえた元吉原子ども会元旦駅伝が、元吉原小学校周辺で行なわれました。当日はすつきりと晴れ、富士山に見守られながら二十八チーム、三百三十六人が、十一区間、十四kmで競い合いました。

優勝したのは、昨年に続いて桧田中・西田中Aチーム。約一分近い大差をつけて、ゴールし、みんなで喜びを分かち合いました。



△中央が濱野プロ

救急医療に役立てて （濱野治光。プロ救急車寄贈）

市内岩本にお住まいのプロゴルファー濱野治光さんから、市に救急車が寄贈されました。

この救急車は、昨年七月に千葉県で行われた「フイランスロビー・タケダカップ・トーナメント」の副賞で、優勝者の指定する地方自治体に贈呈されることになりました。手動引金式呼吸器や酸素吸入装置なども装備され、早速西消防署に配備。これで救急車は五台になり、救急医療が一層充実しました。

「地球にやさしい環境を」と、市は電気自動車を購入しました。電気自動車は、箱型の軽四輪。モーターで動くから、音が静かで乗り心地も抜群。最高速度は時速七十km、一回の充電で八十kmも走ります。

これからは、環境問題をアピールするために、公害監視パトロールや各イベントの展示に使用します。機会があれば、ぜひ一度。